

平成27年度 財政学習講座 アンケート(第2回)

1. 今回ご参加していかがでしたか？感想をお書きください。

A: 専門的な講習となって興味が増すも理解するのに今ひとつか。

B: 君津市の財政状況にもっと興味を持って私たちができることを考えたいと思います。

C: 財政の実情について大変わかりやすかった。歳入歳出額だけでなく中身の分析が大事であること、危機感を持たなければならないと感じた。決算にも関心を向けていきます。

D: 市のホームページに市町村財政比較分析表があるとは知らなかった。でも、先生の解説無しで自力で読み解くのは難しいだろうと思います。

E: 今日が初回の参加です。半分位の理解しか出来ていませんが、講師の最後のまとめで大まかにわかりました。続けて行けば多少勉強になるか？と思います。

F: 市財政の状況について大変勉強になりました。決算カードをホームページから取り込めることを知りました。

G: 君津市の財政を具体的に分析し、解説していただきよく分かりました。

H: 次第に内容がむずかしくなり理解度40%。レベル下げて欲しい。

I: たいへん良かったです。

J: 君津市の財政が豊かでないことが理解できました。

K: 財政を住民1人当たりの数字にブレイクダウンした説明なのでよく理解できた。普通会計決算の市としてのコメントが紹介されたのはありがたかった。決算を市がどう評価しているのか、どう反省しているのかがこれまでよく解らなかった。

L: 結構な講義で良かった。もっともっと知りたいと思います。市民の1人として協力できることはそれなりに協力、また還元していただきたいと思います。

M: 市の財政力はあるが、経常収支比率が悪い。人件費と物件費が高い。公共施設の統合→サービスが減らないか、どう減らすか。

N: 公共施設の統廃合の問題で学校や保育園の関係は親の仕事などを考えると人数の比率で地域の区切りをすることには問題があると思います。

O: 人件費、物件費をどう減らすか。公務員と正社員、契約社員との賃金の差が気になる。

P: 君津の財政が少し安全な位置にある事が少し理解できました。でも面積の広いのはどうすれば解決出来るのでしょうか。

Q: 大きな問題が起こる前に対応するのに赤字と債務しか見ていないのでいいのか…？赤字と債務をつくらないためには何もしなければ良いになってしまう！それでいいのか？また今までやってきたのでこれからも…でいいのか？施設は建てるだけではすまない。これからどれだけかかるのか？全て身につまされます。強い危機感を感じます。きちんと知り変えていくことの必要性を強く感じています。毎回胸が痛み考え、対応を考えてしまいます。

R: 君津市の財政の実態を知りたいと思い参加しました。多方面にわたるデータにより、君津市の現状がよく理解できるようになりました。私も一市民の立場で市の発展のため協力して行こうと思います。

2. 当講座に関して今後とりあげて欲しい内容、詳しく知りたい内容はありますか？今後の運営の参考とします。プログラム以外のリクエストでも構いません。

B:赤字比率の数字はどういう基準で決められているのですか？もう少し詳しく知りたい。将来負担は、将来の人たちは人たちであると思います。健全にはこれから何が起こるかわからない時代に今の考え方でいいのでしょうか。

C:次回も参加させていただきます。

D:今後どうすれば市の財政力が向上するのかを受講者みんなで話し合ってみたい。

F:議員数について議論があります。人口増加の著しい木更津と同数なのが気になります。

M:今後どのような考え方が必要か。指定管理者制度以上のもの？

Q:今回の君津市による財政状況の分析結果の公表を読み解くことが出来て良かったです。数で見るとあまりにも数が大きく何からどう対応していいか悩んでしまいますが言葉での分析、年度を追ったグラフ、類似団体での順位、県や国との平均との比較により、私のようないち市民でも自分の頭で考えようという意識を持つことができます。

R:知りたい内容について「市議会議員のこと」・議員への報酬は何費に含まれているのか、退職金、年金の金額が知りたい。・議員の報酬はどこで決めているのですか。・その報酬の額はどの様にして決めているのか、妥当な額なののでしょうか。

3. その他、ご意見等があれば自由にお書きください。

J:大学の講義を聴いているようで資料が多く理解が困難。質問を取り入れながらもう少しスローでお話いただけたらと思います。

M:市の施設管理など現状はどう進んでいるのか教えてほしい（市の方からでも良い）。建設・補修事業も含めて。

Q:君津市は面積が広大であるという、この変えられない課題を受け入れて、ここにどう対応していくのか？変えていくのか？広大であれば公共施設も多く、地域性があっても地域別の分析がむずかしい。しかし対応はできる。事業別コスト、施設別コストを分析対応する。身につまされました。規模は小さいですが我が家は来春から世帯が4つになります。どう対応していいか危機感を感じずにはいられません。しかし、対応策はある…。我が家の規模の小さな家計の話ですが、身につまされている、実感している悩み課題を解決していくことで市の課題も手の届かない物ではない、自身の課題として対応していけると信じています。

R:議員の数についての質問…人口減少等により他の3市（富津、木更津、袖ヶ浦）等では議員数を減らしています。君津のみ減らしておりません。特に木更津は人口が1.5倍もあるのに君津と同じ数の24人です。君津市の議員数が多すぎると言われていますが、その実態を知りたい。君津市の財政がこれから縮小してゆく時代にあって議員の活躍の場は、主にどんな方面になるのでしょうか。君津市の歳出を少なくしなければならない現状にあって議員の数や報酬について検討してほしいと思います。